

第五十二回帝國議會
衆議院

移住組合法案外一件委員會會議錄(速)第二回

付託議案
移住組合法案(津崎尙武君外九名提出)
產本組合中央金庫法改正中法律案(由谷義治君外五名提出)
海外移住組合法案(政府提出)

會議

昭和二年二月二十五日(金曜日)午後二時八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 池田 泰親君

理事 神田 正雄君

理事 奧野小四郎君

樋口 秀雄君 藤井 敬慎君

由谷 義治君 山本 勝次君

村上 國吉君 二木 洵君

島本 信二君 津崎 尙武君

岡田 溫君

同月二十四日海外移住組合法案(政府提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席政府委員左ノ如シ

外務政務次官男爵 矢吹 省三君

外務參與官 永井柳太郎君

外務書記官 坪上 貞二君

社會局長官 長岡隆一郎君

農林參與官 高田 耘平君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

井上 雅二君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

移住組合法案(津崎尙武君外九名提出)

海外移住組合法案(政府提出)

○奧野委員長代理 委員長缺席デゴイ

マシテ、私委員長ニ代ッテ議事ヲ開キマス、御承知ノ通り、政府案ノ移住組合法ガ當委員會ニ併託ニナリマシタモノデスカラ、ソレニ對シマシテ御質疑ヲ願ッタ方ガ宜シイカト思ヒマス

○津崎委員 説明ヲナサルカドウカ、ナサレバ説明ヲ聽イタ上ニ致シマス、或ハ昨日ノ本會議デ説明ハ盡キテ居ルトシテ、サウシテ直ニ質問ニ入ルト云フコトナラバ、私簡單ナ質問ヲ致シタイ、ドチラデモ宜シウゴザイマ

○奧野委員長代理 昨日ノ本會議デ大抵御分リデセウカラ、直ニ御質問ヲ願ヒタイト思ヒマス

○津崎委員 ソレデハ二、三ノコトヲ御伺ヒ致シマス、昨日ノ本會議デモ、御尋ネシテ置キマシタガ、吾々議員ノ提案ト此提案ト異ナル要點ハ、海外移住組合法トスルカ、或ハ單ニ移住組合法トシテ内地移住モ包含セシムルカト云フコトガ、第一ノ相違點デアリマス、第二ノ相違點ハ、聯合會ノ問題デアリマス、此二點ガ議員ノ案ト政府案トノ相違ノ主ナル點ト思フノデアリマス、大體先ヅ此二點ニ付キマシテ政府ノ御意思ノアル所ヲ御尋ネシテ置キタイノデゴザ

イマス、即チ第一ノ此海外移住組合トセズシテ、單ニ移住組合トシテ、内地移

住ニモ適用シ得ルヤウニシテハドウカ、之ニ付テ御意見ヲ先ヅ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○矢吹政府委員 只今津崎君ノ御質問ハ、昨日本會議ニ於テ大臣ニ御質問ニナリマシタ點ト同様デアリマス、昨日大臣ヨリ御答申シマシタ通り、海外移住ノコトト内地移住ノコトトハ、等シク移住ト申シナガラ、場所ガ海外ナルガ爲ニ事情ヲ大ニ異ニスル點ガアルト思フノデアリマス、從ヒマシテ同一ノ法律ニ依リテ、内地移住ノコトモ海外移住ノコトモ兩方規定スルト云フコトハ困難ナル點ガアルト思ヒマシテ、其點カラ見マシテ、海外移住組合ニ付テ

ノミ法案ヲ作ルコトガ適當デアラウト云フ考デ、本案ヲ提出シタ次第デアリマス、尙ホ又内地移住ノコトニ付キマシテハ、自ラ別ニ方法ガアラウカト考ヘテ居ルノデアリマシテ、即チ北海道拓殖計畫デアルトカ、又朝鮮ニ於テ東洋拓殖會社ノ事業ノ一ツトシテ、内地ヨリ移住民ヲソレ等ノ地方ニ入レルト云フヤウナ方法ハ、必ズシモ移住組合ニ依ラズシテモ出來ヤウカト考ヘマス、此際ハ先ヅ海外移住組合ニ付テノ法案ヲ提出スルコトガ至當デアラウ

カト考ヘタノデアリマス
○津崎委員 此内地ト海外トノ區別ハ

致シテ居リマスガ、唯々其從來ノ内地ニシマシテモ、内地ニ近イ北海道トカ樺太トカ、更ニ植民地等ニ於テ朝鮮臺灣或ハ關東州、斯ウ云フ所ヘノ移住モ相當必要ト考ヘテ居ルノデアリマス、サウ

シテ產業組合法ニ依テサウ云フコトヲ實現シヤウトシテヤッテ見マシタ、矢張昨日モ御話シマシタ通り、監督權ノ關係デ、ドウシテモ地方長官ノ監督權ガ其府縣ヲ出デナイ、例ヘバ東京府カラ埼玉縣ニハ直グ關係シテ行クコトハ出來ナイ、斯ウ云フコトニナッテ居ル、デアルカラシテ此產業組合法デモ少シ改正シマスレバ、監督權ノ關係ガ工合好クナッテ、同ジ内地ノ人口移動デモ出來ヤウカト考ヘマス、私ノ今申上ゲマ

シタ植民地、又北海道ヲ初メトシテ内地ノ移住モ尙ホ必要ト信ジマス、加フルニ此頃外務省ノ空氣モ餘程日本のナリマシテ、海外ニ行クト云フヤウナコトヲ割合ニ御心配ナリ堂々ト言ハレルヤウニナッタカラ宜シイノデスケレドモ、昔ノヤウナ外務省デアレバ、此海外ト云フコトデサヘ御賛成ニナラヌト私ハ思ッタ位デアル、内地移住モヤルノデアル、ソレデ吾々ノ提案ノ理由ニモ、内地移住ハ勿論、海外移住ヲヤルト云フコトヲ態ト書イタ次第デアリマス、然ルニ此頃ノ外務省ハ、餘程日本の

世界的ニナラレテ、斯ウ云フコトヲ公然ト堂々ト法規トシテ作ラレルヤウニ進ンダノデアリマスカラ、是非非常ニ慶スベキコトデアリマス、ソレデ只今御話ノコトハ、私ハ大體分ッテ居リマシガ、此ノ處デ御尋ネ致シマスコトハ、追テ追加豫算ヲ出サウ斯ウ云フ御話デア

ル、サウシマス此豫算關係ニ於キマシテ、内地移住モ之ニ入レテ置クコトハ何カ障礙ヲ來スト云フヤウナ虞ハナイノデアリマスガ、サウ云フコトデサウ言ハレルノデナイカト思フノデアリマスガ、サウデハアリマセスカ、ソレガ一ツ、ソレカラ其處ニ社會局長官モ居ラレマスカラ、一寸御伺ヒ致スノデアリマスガ、内務省ノ關係カラ致シテ、其必要モ相當ニ感ゼラレテ居ルト思フ、ソレデ私共ノ見ル所ヲ以テシマスレバ、少シ此法案ヲ變ヘルト云フト、尙ホ内地移住ニモ適スルケレドモ、吾ミノ根本ノ目的ハ内地ノ移動ハ當然ニ行ハレルカラ、サウ實ハ力ヲ入レテ居ラヌ、ウント海外ノ移住ニ力ヲ入レタラ

宜イト思フケレドモ、折角此法律ガ出來ル時ダカラ、何トカ緩和スルト云フコトハ御考ニナッテ居ラナイカ、或ハ此事ハ別ニ後カラドウカ爲サルト云フ御考デアルカ、序ニ御伺ヒシタイ、六ヶ敷イコトヲ言フノデヤナイ、ソレカラ尙ホ外務省ニ對シテ御尋ネシマスコトハ、例ヘバ茲ニ幾ラカノ追加豫算ヲ請求ニナル、其追加豫算ヲ請求セラレルニ

付テ、移住組合法ニ依テ其豫算ニ基イテ仕事シテ行ク爲ニハ、内地移住モ入レテ置クト事ガ面倒ニナルト云フコトガ、背後ニアルノデハナイカ、サウ云フヤウナ虞ハナイカト云フコトヲ御聞キシタイ

○矢吹政府委員 内地移住ニ關シマシテハ、豫算ニ於テ別ニ取ッテ居リマスノデ、此海外移住組合ニ伴フ豫算ハ全ク海外移住ニ限ルモノデアリマス、他ノ點ハ社會局長官カラ御答申上ゲタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○長岡政府委員 モウ宜シイノデセウ

○津崎委員 強イテ言フノデハアリマセヌガ、内地ノ關係デ人口ノ移動、此法規ヲ海外移住トシナイトモ、法規ノ作リ方ニ依テハ是デ簡單ニ出來テ行ク、本當ノ話ハ出來テ行クガ、ソコニ考慮セラレナカッタカ、若シ將來何トカソレニ對シテ考慮セラレテ居ルカ、御聞キシテ置キタイ

○長岡政府委員 只今ノ御質問ニ對スル御答辯ト致シマシテハ、矢吹政務次官カラノ御答デ盡キテ居ルト思ヒマシケレドモ、先程カラ稍々御名指デ御註文モゴザイマスカラ、重複ニ涉ルカモ知レマセヌガ、私カラ申上ゲマス、豫算關係ニ付テ何カ支障ガアルカト云フヤウナ意味ノ御質問ニ對シマシテハ、是ハ何等關係ハゴザイマセヌ、此海外移住組合法案ニ對スル追加豫算ガ、外務

省豫算トシテ出マシタガ、内務省豫算トシテモ出マスカ、ソレハ未定デアリマスガ……

〔奥野理事委員長席ヲ退キ、池田委員長代リ着席〕

併シ内地移住ニ關スル豫算ハ是ト切離シテ、衆議院ノ御協賛ヲ經テ居リマス、即チ北海道移住ニ付テハ、北海道第二期拓殖計畫トシテ、北海道移住ニ關スル獎勵費ハ相當見積ッテ居リマス、ソレカラ朝鮮ニ對シマスル移住ニ對シマシテハ、外務省ノ豫算ノ中ニ、相當費用ヲ見積リマシテ、朝鮮ノ處女地ニ對スル移住即チ在來ノ朝鮮人ヲ是等ノ土地カラ驅逐スルト云フ意味ノ方針ヲ執ラズシテ、新ニ荒蕪地ヲ開墾致スナリ、或ハ海岸ニ堤防ヲ築イテ、其處ニ處女地ヲ造ルト云フヤウナ所ニ對シマシテ、水田作業ニ從事シテ居ル所ノ内地ノ農業人口ノ相當戸數ヲ移住サセルト云フ、相當ノ豫算ハ既ニ提出致シテアリマス、今回ノ海外移住組合法ニ對シマスル豫算トハ、全ク沒交渉デアルト云フヤウニ御聴取ヲ願ヒタイ、是ハ先程矢吹政府委員カラ申上ゲタト同ジ次第デアリマス、尙亦政府ニ於テ内地移住ト海外移住ヲ行フコトニ付テ、如何ナル方針ヲ持ッテ居ルカト云フコトハ、昨日本會議ノ席上ニ於キマシテ大臣ガ御答申上ゲマシタ如ク、又本日矢吹政務次官カラ御答申上ゲタト同様ノコトデアリマシテ、無論理論上カラ申シマス

レバ、海外ノ移住並ニ樺太ノ移住ノ助成ヲ兼ネ行フ方針ノ併立ハ、法理上ハ勿論可能デアリスガ、海外移住ト内地移住トハ、其事業ノ性質及ビ實行法等ニ付キマシテ、著シク相違シテ居ル點ガゴザイマスカラ、同一ノ法律ニ依リ又同一ノ組合ニ於テ、兩方行フト云フコトハ、却テ事業ガ内外ニ涉リ複雑ヲ來タス、其監督モ餘程困難デアルト云フヤウナ立場カラシテ、國內ノ移住ト云フコトニ付キマシテハ、今回ノ法案ハ別ニ考ヘマシタ次第デアリマス、北海道、樺太等ニ對スル内地移住ノ餘地ヲ存スルト云フコトハ、是ハ只今津崎君ノ御説ノ通りデアリマスケレドモ、之ニ付キマシテハ或ハ北海道國有未開地處分法デアリマストカ、或ハ樺太國有未開地特別處分會デアリマストカ、或ハ官有地境界規則トカ、色々他ノ法令トノ關係モ考慮致サナゲレバナラヌノデアリマス、又之ニ付キマシテハ果シテ移住組合ト云フヤウナ組合ヲ只今作ッテ、此力ニ依テ團體移住ヲスルニハ、内地ノ府縣ヲ單位トシテ致サナゲレバナラヌヤウナ現狀ニ差迫ッテ居ルカト云フコトモ、多少考慮ノ餘地ガアリマスノデ、此問題ハ無論兩者合セテ研究ハ致シマシタケレドモ、今回ノ提案ニ於キマシテハ兩者切離シテ致シマス方ガ事務ノ簡捷ヲ期スル上ニ於テ、又組合ノ事業ヲ遂行スルニ容易ナル點ニ鑑ミマシテ、政府案ト致シマシテハ

海外移住組合法案ト云フモノヲ切離シテ考ヘマシタ次第アリマス

○津崎委員 其點ハ大體分リマシタガ、先刻申上ゲマシタ通り、吾々内地ノ人口移住ト云フコト、殊ニ今長官ノ御話ノ朝鮮ノ統治問題カラ考ヘマシテモ、相當ニ朝鮮滿州其他ト内地トノ關係ニ於テ、適當ナ移動ヲヤツテ居ルガ、其適當ナ移動ヲヤツテ行カナケレバナラヌ、其適當ナ移動ヲヤツテ行クコトガ、ヤガテ朝鮮統治ノ根本問題ニ觸レテ來ルト思ヒマス、是ハ別ナ場合ニ於キマシテ御考慮ヲ願フコトニ致シマシテ、吾々内地移住ト云フコトヲ法案ノ中ニ加ヘマシタノハ、是ハ先刻申上ゲマシタ海外ト云フコトヲ憚カラレ爾傾向ガ從來アッタノヲ、今日ノ外務省ガ其處マデ進ンデ居ルト云フヤウニ諒解致サナカッタカラ、多少遠慮ヲ致シタノデアルガ、併ナガラ吾々ハ先年モ申上ゲ、且ツ外務大臣モ第五十一議會ニ於キマシテ、國民ノ移住ヲ歡迎スル所ニハ、何處デモ遠慮ナク人ヲ出シテ宜イ、斯ウ云フ方針ヲ堂々ト議會ニ於テ述べラレルコトニナッタノデアリマスガ、非常ニ慶賀スベキコトト思ッテ、而シテ今回此法案ヲ出サレル位ニ進ミマシタコトヲ、先ニモ申上ゲマシタ通り慶賀シテ居ル次第デアリマス、ソコデ第二段ノ聯合會ノ問題デアリマス、是ハ色々昨日モ御尋ネシテ御答ヲ得タノデアリマスガ、考ヘヤウニ依リマシテハ、寧ロ

政府案ノ如ク大體ニ於テ一府縣ヲ一組合トシテ、サウシテ早ク有力ナル組合ノ設立セラレ、而シテ聯合會ノ出來ルコトニナルガ宜イカトモ思フノデアリマスガ、コデ組合ノ區域、第四條ノ組合ハ一區域一個ニ限リトアリマスガ、一區域ト云フ意味ヲ強イテ府縣ト云フコトニ固ク取ラナイデ、例ヘバ長野縣ノ如キ、同ジ縣デアッテモ地勢狀カラ二ツニ分レテ居ル、或ハ三ツ四ツニ分レテ居ルト云フヤウナ所ハ、縣内ニ於テモ之ヲ一區域トシテ、例ヘバ縣ヲ二ツノ區域トシテ、其一區域一個ノ移住組合ガ出來テ、ソレガ聯合會ニ對シテ加入スルト云フコトヲ御認メニナルノデアルカドウカ、一區域ト云フコトハ府縣ノ單位トスルト云フ昨日ノ御話デアリマシタガ、非常ニ固ク府縣ト云フコトニ據ラレルノデアアルカドウカ、斯ウ云フコトヲ一寸御聞キ致シテ置キタイト思フノデアリマス

○矢吹政府委員 大體府縣ノ單位トシテ考ヘテ居ルノデアリマスガ、唯ニ非常ナ人數ニナルト云フヤウナ場合ニ於テ、或ハ府縣ニ二ツノ組合ヲ認メルト云フコトモアリ得ルコトト思ヒマスガ、成ベク一府縣一組合ト云フコトデアリタイト思ヒマス、海外ニ於ケル日本人ノ現狀ニ於テ、多クハ同縣人デアルト云フヤウナコトノ爲ニ、御互ニ親密ニシ交通シ合フト云フヤウナ狀態ヲ始終見受ケルノデアリマス、即チ長野

縣人會デアアルトカ、或ハ縣本縣人會デアアルトカ云フヤウナ會ガ出來テ居リマシテ、其下ニ各親睦ヲ圖リ、又相互ノ利便ヲ圖ッテ居ルト云フコトノ現狀ヲ認メルノデアリマス、是等カラ見マシテ、矢張移住組合ノ場合ニ於テモ、一ツノ縣ノ單位トシテ、移住組合ヲ造ルコトガ實狀ニモ適シテ居ルノデハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、併シ一府縣ニモウ一ツ、詰リ二個ノ組合ヲ認メルト云フコトハ、其時ニ於テ實狀ニ

適スル場合ニハ必シモ一府縣一組合ト云フ主義ヲ固執スルモノデハアリマセヌガ、只今考ヘマス所デハ成ベク一府縣一組合ガ最モ便利デモアリ、實狀ニモ適シテ居ルコトデアラウト斯ウ考ヘテ居リマス

○津崎委員 今ノ問題ハ、吾々ノ法案デハ昨日申上ゲマシタ通り、縣ノ下ニ或ハ郡ノ下デモ宜シイシ、或ハ場所ニ依テハ町村ノ聯合デモ宜シイノデアリマス、移住組合ヲ造ッテ、ソレヲ府縣デ聯合シテ府縣ノ聯合會、若クハ、聯合會ノ無イ所ノ移住組合、サウ云フモノヲ集メテ移住組合中央聯合會ヲ造ル、產業組合ノ如キ、斯ウ云フ形式ニシヤウト云フ案ニナッテ居リマス、是ハ吾々ハ強イテサウ云フノデハアリマセヌガ、只今申上ゲマシタ此一區域ト云フコトデ、例ヘバ或ル縣ニ於テ縣ノ單位トシテ組合ガ出來テ居ッテ、其組合ガ非常ニ

其地域ヲ更ニ分割シテ同ジ縣ヲ二ツニ分ケテモ、其縣ノ半分ナラ半分ヲ一區域ト見テ差支ナイノカ、府縣ト云フモノハ行政上ノ區域ヲ基礎トスルケレドモ、縣ト云フ自治體ヲ範圍トセズシテ、縣ノ行政區域ヲ二ツニ割ッテモ、今ハ一ツデアッテモ將來盛ンニナッテ二ツニ割ツタ時ニ、各半分ヅツ一區域ト認メテ、此法案デ行キ得ルト云フコトニ御考ニナッテ居ルカ、斯ウ云フコトデアリマス

○長岡政府委員 只今ノ御質問ニ對シマシテ、先程外務政務次官カラ御答申上ゲマシタヤウニ、必シモ府縣ノ行政區域ト云フコトニ固執致シマセヌ、併シ現在マデ出來テ居リマスル移住民ノ團體ヲ調ベテ見ルト、現在「ブラジル」ニ移住地ヲ購入シテ、殖民事業ニ著手シテ居ルモノガ四ツアリマシテ、信濃海外協會、鳥取縣海外協會、熊本縣海外協會、富山縣海外協會デ、何レモ府縣ト云フ行政區域ヲ其區域トシテ居リマシテ、其準備中ノモノニハ三重縣海外協會、廣島縣海外協會、福岡縣海外協會、石川縣海外協會、鹿兒島縣海外協會、福島縣海外協會——防長海外協會ト云フノデアリマスガ、是ハ恐ラク山口縣ト思ヒマス、現實ノ狀況ヲ見ルト、伺レモ府縣ノ單位トシテ居リマシテ、場所ニ依テハ此府縣カラ協會ニ對シテ府縣費ヲ以テ補助シテ居ル所モアルヤウデアリマス、府縣費ノ補助或ハ役

員ノ組織ト云フコトヲ考ヘマスルト、府縣ノ行政區域ヲ一ノ單位トシタガ便利ノヤウデアリマス、現在實際ノ狀況ガサウナッテ居ルコトガ之ヲ證明シテ居ルト考ヘマスカラ、原則トシテ府縣ヲ單位トシテ行ツタガ、實際上ノ取扱ニ便利ダラウト斯ウ云フ趣旨ヲ申上ゲタノデアリマス、併ナガラ法文ニ於キマシテハ、府縣ノ行政ノ區域ト云フコトハ決シテ書イテゴザイマセヌ、單一區域ト云フコトガ書イテアルノデアリマス、是ハ只今ノ取扱方針デ行キタイト云フコトヲ御答申上ゲタニ過ギマセヌ、將來ノ狀況ガドウ變化致シマスカ、是ハ分リマセヌカラ、將來只今津崎君ノ御示ノヤウニ、或ハ信濃海外協會ト云フヤウナモノガ、南信、北信、土地ノ事情、人情風俗ノ上カラニツニ分ケタガ便利デアアル、サウシテ其方ガ事業ノ遂行上容易イト云フ見分付キマスルナラバ、是ハ無論府縣ト云フ行政區域ヲ一區域トスルト云フコトヲ固執スル考ハアリマセヌ、カルガ故ニ一區域一個ト云フコトニシテ、行政區域ト云フヤウナコトヲ謳ハナカッタ次第デアリマス、只今ノ政務次官ノ御答ニ於キマシテハ、現在ノ狀況ニ於テハ實際行ハレテ居ル行政區域ヲ一區域トシタガ、當座ノ所便利デアアル、併シ將來ニ於テ事情ノ變化ニ依テ必シモ一府縣一區域ヲ固執スルモノデハアリマセヌ、斯様ナコトニ申上ゲタコトト考ヘ

マス
○津崎委員 大體分リマシタガ、地方ノ移住組合ト云フモノノ主管、是ハ內務大臣ガ矢張主務大臣トシテ行カレルノデアアルカドウカ、ソレカラ茲ニ第九條ノ聯合會ノ主務大臣ト云フノハドノ大臣デアアルカ、隨テ色ニ主務大臣トシテアリマスノハ少シ分ラナイト思ヒマスガ、第十一條ノ但書ノ府縣ニ於ケル移住組合ハ、內務省ノ所管ニ於テ其地方ニ於ケル組合デアアルカラ、內務大臣ノ主管ニナルカドウカ、之ヲ伺ッテ置キマス、是ハ一方ニ産業組合法ヲ大分準用シテ、産業組合ノヤウナ仕事ヲスルノデアリマスガ、産業組合ハ農林省ノ主管ニ屬シテ居ルカノ如ク承知致シテ居ルノデアリマス、サウシマススト云フト、兎角斯ウ云フコトノ助成トカ監督トカ云フヤウナコトガ、地方ノ者ニハ譯ノ分ツタ官吏ナラバ宜イケレドモ、譯ノ分ラヌ官吏ガ來ルト、本當云フトウルサイコトガアル、デアアルカラ主管ト云フヤウナコトモチヤント何處デヤラレルカ一應御聞シテ置イテ、願クバ斯ウ云フ助成上ノ大事ナ助成機關ヲ構成シテ活動ヲシテ行カウト云フノダカラ、出來ルダケ主管モ明カニシテ置イテ、サウシテ出來ルダケ譯ノ分ル官吏ヲ吏員ニ任命シテ貰ッテ、活動シテ貰ヒタイ、實ハ斯ウ云フ私ノ考デアリマス、府縣ノ協會ノ主管ノ大臣ハ何大臣デア

ルカ、聯合會ノ主管ノ大臣ハ何大臣ノ御積リデアアルカ、斯ウ云フコトヲ御伺シタイ
○長岡政府委員 各條文ニ於キマスル主務大臣ト云フコトニ付キマシテハ、マダ具體的ニ決定致シテ居リマセヌ、併ナガラ大體外務省ト內務省トノ今迄ノ申合セニ依リマススト、海外移住ニ付キマシテ、内地ニ於ケル事務ハ內務省ニ於テ之ヲ主管致シ、海外ニ於ケル移殖民ノ指導助成等ハ、外務省ニ於テ主管致スト云フ申合セニナッテ居リマス、又內務省官制、外務省官制ノ上カラ見テモ、ソレガ適當デアルト考ヘマスガ故ニ、今回ノ海外移住組合法ニ於キマシテモ、内地ニ於ケル監督ハ內務大臣ガ之ヲ行ヒ、海外ニ於ケル監督助成ハ外務大臣ガ之ヲ行フト云フコトガ當然ノ歸結デアラウト思ヒマス、隨ヒマシテ府縣ノ海外移住組合ノ監督ノ如キハ、勿論內務大臣ヲ除外スルコトハ出來マセヌケレドモ、物ニ依リマシテハ、内外兩大臣ガ主務大臣ニナルコトモアラウト思ヒマス、此各條文ニ付キマシテ、主務大臣ヲ何レニスルカト云フコトハ、目下兩省ニ於テ打合セ中デアリマス、此施行規則ヲ作りマス際マデニハ、無論確定致スコトト思ヒマス、尙又産業組合法ヲ準用シテ致シテ居ル結果、農林省トノ關係ハ如何相成ルカト云フ意味ノ御尋ネモゴザイマシタケレドモ、是ハ單ニ産業組合法ノ條文ヲ一々列舉致シマスル代リニ、其各條文ヲ拜借シ

テ來タト云フヤウナ關係デアリマス、ソレハ唯ニ條文ヲ引用シタト云フニ止ツテ居リマス、農林大臣ガ是ノ主管ニ加ハルト云フ意味デハアリマセヌ、一例ヲ申上ゲマスレバ、住宅組合法ノ如キハ、非常ニ多數ノ條文ヲ産業組合法カラ引イテ參リマシテ、之ヲ準用若クハ適用致シテ居リマスケレドモ、是ハ純然タル內務大臣ノ主管デアリマシテ、其引用サレタ條文ニ關係ガアルガ故ヲ以テ、農林大臣ハ主管大臣トナッテ居リマセヌ、隨ヒマシテ今回ノモ單ニ條文ヲ之ニ引用シタル故ヲ以テ、農林大臣ガ直ニ主管ニ加ハルト云フヤウナコトハナカラウカト考ヘテ居リマス、唯ニ譯ノ分ツタ役人ニ監督ヲシテ貰ハナケレバ困ルト云フコトニ付キマシテハ、何處ノ役所ノ役人ハ譯ガ分ル何處ノ役所ノ役人ハ譯ガ分ラヌト云フヤウナコトハ、吾々政府部内ノ者ニハ分ラナイ、是ハ然ルベク津崎君ニ御判斷ヲ願フ外ハナイト考ヘマス
○津崎委員 今ノ御話ハ唯ニ産業組合ノ法規ヲ此所ニ拜借シタノデアアルニ關係ガナイト云フコトハ分ッテ居リマスガ、唯ニ私ノ御尋ネ致シマシタコトハ、今長官ノ最後ニ云ハレタコト以外ニ於テ、唯ニ此法規ガ出來ル、出來タ場合ニ早速組合ヲ造ラセヤウデヤナイカト云フ時ニ、ドチラカト云ヘバ、農林大臣ノ所管ニナッテ居リマス産業組合ノ

者ガ、割合ニ斯ウ云フコトニ慣レテ居ルカラシテ、之ヲ助成シテ行クニ付テモ、ソコヲ所ト相當ニ聯絡シテ行ク方ガ宜イデヤナイカト云フ考モ致スノデアリマス、併シサウ云フコトハ、今日強イテ御聽キシタリ論ズル譯デハアリマセヌカラ、是ハ此程度ニ止メテ置キマス、ソレカラモウ一ツ伺ッテ置キタイコトハ、昨日本會議ニ於テモサレマシタガ、海外移住組合以外ノ會員、是ハ大體ドンナモノトシテ指定スルコトハ今出來ナイト云フ外務大臣ノ御答デアッタ、併シ大體ノ御見當ハ附イテ居ル筈ト思フノデアリマス、是ハ團體ヲ意味スルノデアラウガ、團體ヲ意味スルモノデアリマスナラバ、「海外移住組合以外ノ者」ト云フ、此「者」ハサウスレバ大體ニ於テドウ云フ者ノ御豫定デアルカ、言換ヘレバ今長官ノ御話ノ海外協會ト云フモノモ、實ハ私共モ之ヲ造ルコトニ努力シタ一人デアリマスカラ、能ク承知シテ居ルガ、ソナモノヲ入レラレル御見込ガアルカナイカ、ソレ以外ノ色々ノ東京ニハ各種ノ紳士達ノ御集リノ團體ガアルノデアルカラ、サウ云フ者ヲ意味スルノデアルカドウカ、又或ル方面カラ尋ネテ受ケタノデアルガ、昨日モ其例トシテ申シタ産業組合ナゾガ、此組合ナルモノニ這入ルト云フ若シ希望ガアルトスレバ、ソナ者ハドウスルカ、斯ウ云フヤウナコトデ、此組合以外ノ者ノ大體ノ御見當

之ヲ一ツ御尋ネ致シマス、ソレカラ第十一條ニ於ケル總會ニ於テ選任スル「其ノ他ノ者」、但書ノ「其ノ他ノ者」是ハ人デアリマスルガ、「其ノ他ノ者」ト云フノハ、ドンナ者ノ御豫定カ、御豫定ガ付イテ居ラナケレバ付イテ居ラナイデ宜シイ

合ニ無關係ノ者ガ多イ、サウスルト吾ハ移住組合法ト云フヤウナモノヲ實現シテ、海外移住ノ目的ヲ達シヤウトスルニハ、地方ノ淳朴ナ、眞劍ナ農民ヲ中心トシタ國民ノ海外發展ヲシテ行クト云フコトガ主眼デアル、所ガ是ガ遣方ニ依リマス、又中央集權的ノ頭ノ大キナ、農業モ知ラヌ、米ガドンナモノカ知ラヌト云フヤウナ人ノミガ牛耳ッテ地方ノ人ハ一向何ダカ譯ガ分ラヌト云フヤウナ虞ガアル、然ルニ此移住組合法ノ如キハ、下カラ突上ゲテ上ニ來テ、上ノ者ガ出來ル形ニナッテ居リマスカラ、是ハ宜イノダガ、折角上ノ出來ル所ニ、又今政務次官ノ御話ノ個人デモ斯ウ云フコトニ趣味ヲ有ッテ居ル者ガ、個人ノ資格デ這入り込ムヤウナコトニナルト、今度偉イ個人ガ跋扈シテ、地方ノ者ガ踏付ケラレヤシナイカト云フコトヲ恐レルノデアリマス、組合以外ノ者ト云フノハ個人ガ這ルカドウカ、今個人ガ這入ルヤウニ御話ニナッタガ、是ハ團體ヲ代表シテ這入ルコトニナルノデアルカ、或ハ某ト云フ個人ガ、此第十條ノ組合員ニ這入ラレルノデアルカ、是ハ一ツハッキリシテ貫ヒタイ

ヲ看板トシテ會員ニシ、實際此事ニ明ルク興味モ多イ人ヲ省クト云フ如キ弊ガ往々今日迄アルノデ、此場合ニ於テ左様ノ事ノナイヤウニシタイト云フ御精神ハ、吾々モ全ク御同感ナノデアリマス、而シテドウ云フ個人ヲ吾々ガ豫想シテ居ルカト申セバ、只今申シタ通り、此海外移住ト云フコトニ永年ノ經驗ヲ持チ、非常ニ熱心ヲ持ッテ居ル所ノ人ヲ聯合會ノ會員トシタナラバ、其聯合會ノ發達ノ上ニ於テ非常ニ利益ガ多カラウ、又必ズ貢獻スベキ者ト信ズル如キ者ヲ、本人ノ希望ニ從テ聯合會ノ會員トナルコトヲ許ス、又篤志ナ人ガアッテ、自己ノ財産ノ一部ヲ割イテ、此移住組合ノ發達ノ爲ニ助成シタイト云フヤウナ人ヲ、本人ノ希望ニ從テ聯合會ノ會員トシテ、其人ノ尙ホ其後ニ於ケル助力モ乞ヒタイト云フ考ヘデアルノデアリマス、隨ヒマシテ之ヲ約言致シマス、團體ヲ代表スル個人アリ、又單純ニ個人ソレ自身ヲ會員トスルコトモアルト云フコトニ御諒承ヲ得タイト思フノデアリマス

○津崎委員 是ハ法案ノ出來ル時デア

○矢吹政府委員 海外移住組合以外ノ者デ、聯合會ノ會員トナル者ハドウ云フ種類ノ者カト云フ御質問ト思ヒマスルガ、之ハ個人デモ宜シ、又法人デモ宜イノデアリマス、而シテ海外移住問題ニ深イ興味ヲ持ッテ、其方ニ相當有能ノ人ト云フガ如キ者、又公益的ノ精神カラシテ斯ウ云フ移住事業ニ後援シタイト云フヤウナ特殊ナ人ノ如キハ、是ハ會員外ノ者ト雖モ、聯合會ノ會員ニ入レルコトニスル、又法人ニシテ左様ナ種類ノモノバ、是亦會員トシテ拒ム次第ハナイト云フ趣旨デアリマス、而シテ産業組合ハ會員ニナレルカドウカト云フ御質問ハ、産業組合ノ性質上聯合會ノ會員トスルコトハ如何デアラウカト考ヘテ居リマスノデ、只今ノ所産業組合ヲ會員トスルコトノ考ヲ持ッテ居ラヌノデアリマス

○津崎委員 今ノ御答デスケレドモ、吾々ノ見ル所ヲ以テシマスレバ、ドウモ日本ニ於ケル各種ノ會合トカ云フヤウナモノハ、中央ノ偉イ方ガ名前ヲ揃ヒテ大變立派ニ見エル、見エルケレドモ、地方ノ眞面目ナ淳朴ナ國民ニハ、割

○矢吹政府委員 或ル團體ヲ代表シテ個人ガ會員トナル場合モアリマセウガ、左様ナ代表ノ意味デナク、個人ソレ自身トシテ會員トナル場合モ豫想シテ居ルノデアリマス、而シテ只今津崎君ノ仰セノ、徒ニ中央ニ於ケル知名ノ者

○津崎委員 是ハ法案ノ出來ル時デア

○津崎委員 是ハ法案ノ出來ル時デア

シテモ相當ノ資本ガ伴ハナケレバナラヌノデアルカラ、或ハ地方ノ細カイ資本ヲ集メテ、相互扶助ノ方法ニ依テ、一ツノ資本團ヲ造ッテ、其資本團ガ海外ニ投資シテ移住シテ行クト云フコトガ本案ノ趣旨デアリマススケレドモ、ソレノミデハ資本ガ足リマスマイカラ、是ハ昨日モ御尋ネ致シマシタガ、政府ノ之ニ對スル助成ト云フヤウナコトモ固ヨリ希望シ、又政務次官ノ御話ノ中央ニ於ケル海外事業ニ興味ヲ持チ且資本ノアルヤウナ人ニ、之ニ關係シテ相當ナ資本ヲ出シテ貰フコトハ希望スルノデアリマススケレドモ、其爲ニ折角ノ公益法人トモ云フベキ此法人ガ、一ツノ營利會社ト云ヒマスカ、ソレ等ノミニ安ニ龍斷セラレテ、左右セラレルト云フヤウナコトニナッテハ、折角地方多數ノ者ヲ相手ニシ基礎ニシテヤラウト云フ此法案ノ精神ヲ奪フコトニナリマスカラ、ソコハ御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス、此處ニ居ラレル井上君ナドハ、委員外ノ議員トシテ今日何カ御尋ネガアルヤウデアリマスガ、最モ熱心ナ海外發展論者デアリ、實行者デアッテ、サウシテ今日尙ホ唯一ノ海外興業株式會社ヲ守ツテ其發展ヲ圖ッテ居ラレルノデアアル、私共其勞ヲ多トシテ、常ニ色々相談シテ居リマスガ、從來ノ古イ歴史ガアル爲ニ、其歴史ノ隋勢ヲ受ケテ、井上君モ社長トシテヤリ憎イ所モアラウト實ハ想像シテ居リマス、サウ云フコトモ吾

吾ハドチラカト云ヘバ、中央ノ資本家或ハ會社ヲ通スカ色々ナコトニ依テ、出來ルダケ資本ヲ集メテ、海外ニ土地ヲ求メテ貰ヒタイ、サウシテ出來ルダケ安イ地面ヲ地方ノ移住組合ニ分ケテ貰フト云フヤウナコトハ希望スルコトデアリマススケレドモ、會社ノコトト此組合ノコトト混同スルヤウナコトニナツテ來ルヤウデハ、又此歴史アル海外興業會社ノ事業ガ、地方ニ於テモ誤解ヲ受ケテ、相俟ッテ行クベキヲ仕事ノ競争ヲスルヤウナ恰好ニナッテ甚ダ面白クナイ、デアリマスカラ、是ハ井上君モ何カ御聞キニナルト思ヒマスガ、此場合ニ於テ其邊ノコトヲ考慮シテ、此法案ヲ成立セシメテ、圓滿ニ工合好ク事業ヲ遂行シテ行クヤウニ御考慮ヲ願ヒタイ、言ヒ變ヘマスレバ、組合以外ノ者ト云フ所ニ付テハ、十分ニ御注意ヲ拂ハレテ、此法案ノ根本精神、即チ眞面目ナ地方ノ、割合資力ノ薄弱ナ、而モ自分ノ身ヲ投出シテ海外ニ自己ノ運命ヲ開拓シテ行クト云フヤウナ者ヲ保護獎勵シテ行クト云フ法案デアルト云フ根本ダケハ忘レナイヤウニ願ヒタイ、ソレデ尙ホ最後ニ昨日御尋ネシタ助成ニ對スル方法デアリマス、即チ之ニ聯合會ノ資金ヲ融通セラレルトコト思ヒマスガ、之ニ付テ大體ノ御方針ガ決ッテ居リマスナラバ、此助成ノ方法ハドウナツテ居ルカ伺ヒタイ、吾々ノ考デハ、之ヲ助成シテ行クニ付テハ、資金ヲ融通シ

テ行クト云フ方面モアリマセウシ、或ハ將來中央ノ資本家ガ仕事ヲシテ行クテ、或ル資金ヲ以テ廣ク海外ニ土地ヲ求メテ、移住組合法ニ依テ地方ノ移住組合ガ移住シ、資本ヲ以テ土地ヲ求メルナリ、或ハ借リルナリシテ、ヤッテ行キマスコトニ依テ、割合ニ冒險的デナクテ、相當ナ利益ヲ得ラレテ行カウト思ヒマスガ、ソレニハ中央ノ資本家ガ投資シテ行クコトニ將來ナラウト思フ、其場合ニ其事業ヲ助成スル爲ニ、政府ガ相當ノ保證ヲスル、此事業ニ付テ此土地ニ投資スル者ハ、其一年ノ利益ガ是ダケニナルマデハ保障スルト云フコトダケデモ、相當ニ仕事ガ出來ルト思フ、政府自身ガ金ヲ出サナクテモ、或ル程度ノ保障ニ依テモ行カウト思ヒマス、是ハ將來ノコトト致シマシテモ、差當リ外務大臣ノ御話デハ、之ニ對シテ追加豫算ヲ要求スル積リデアルト云フカ、御見込ハドウ云フ方法ニヤル御見込デアアルカト云フコトヲ、一言御能キシタイト思ヒマス

○矢吹政府委員 助成ノ方法ハドウ云フ方法ヲ採ルカト云フ御質問ニ對シテハ、昨日外務大臣ガ本議場デ御答申上デマシタ通り、追加豫算ヲ提出致ス際ニ、其方法ハ御説明スルコトガ最モ當ヲ得テ居ルト思フノデアリマス、只今ノ所デハマダ議會ニ提出モサレテ居リマセズ致シマスノデ、暫ク此事ニ付テ御説明ハ差控エタイト思フノデアリマス、而シテ趣意ニ於キマシテハ、移住ノ發達ニ對シテ眞面目ニ助成スル、而シテ堅實ニ發達セシメタイト云フ、其主義ヲ全ウシタイ考デ居リマス、細カイ方法ハ暫ク追加豫算ノ提出マデ御答ヲ御待ヲ願ヒタイト思ヒマス

○津崎委員 簡單ニ御伺ヒシテ置キタイノデアリマスガ、之ニ伴フ施行期日モ勅令ヲ以テ定メルト云フコトデアリマスガ、施行ノ細則トカ云フヤウナ事柄デアリマスガ、是ハソロソロ御起案ニナッテ居ルト思ヒマス、本來ハ外務省ガ出サレタ形ニナッテ居リマスガ、施行細則ニ付テハ内務省デヤッテ居リマスガ、是ハ本案ガ通過シタナラバ、成ベク早く施行シテ行キタイト思ヒマスノデ、施行細則ナドモ面倒ナ事ヲ長ク捏ネクツテ居ナイデ、早く出シテ戴キタイ、地方デハ待ッテ居リマスカラ、此事ヲ御願ヒシテ置キマス、私ハ是デ打切りニ致シマス

○岡田委員 私ハ少シ都合ニ依リマシテ、昨日提案ノ節説明ヲ伺フコトガ、出來マセヌデシタシ、又關係法規ニ付テモ能ク調べマセヌノデ、甚ダ白紙的ノ質問ヲ致シマス、大體組合組織ニナサルニ付テハ、其組合員トナルベキ者ハドウ云フ方面ノ者ヲ勧誘サレルカ、要スルニ組合員タルノ資格、例ヘバ資本家トカ地方海外移住ニ關係アル者トカ、斯ウ云フ方面ノ者ヲ勧誘スルト云フ御見込ガアレバ、ソレヲ承リタイ

○失吹政府委員 申スマデモナク組合員タル者ヲ、政府トシテ勸誘致スノデハアリマセヌガ、ドウ云フヤウナ種類ノ人ガ此組合員ニナルデアラウカト云フコトヲ豫想シテ見マスト、無論海外ニ移住スルコトニ興味ヲ持ッテ居ル人デナケレバナラヌト思ヒマス、又此組合ニ入ル以上ハ、全然無資力デハナル

マイト思フノデアリマス、一定ノ組合ノ持分ヲ拂込ムダケノ力ガナケレバナラヌト思フノデアリマス、或ル程度ノ資力ヲ要スルコトト思フノデアリマス、又海外ニ出ルノデアリマスカラ、相當身體モ健康デナケレバナラヌ、又海外ニ於テ其國ニ同化シテ喜バレルヤウ

ナ移民デアリタイガ爲ニ、全然同化性ヲ持タヌ内地ニ於ケルト同ジヤウナ、縋袍デモ着テ表ヲ歩クヤウナ頑固ナ考ヲ持ッテ居ル人デハ困ルト云フヤウナコトハ、私共ト致シマシテ今カラ此組合員タル者ニ對シマシテ希望ヲ持ッテ

居リマス、是ハドウ云フ種類ノ人ヲ移住組合員ニスルカト云フコトハ、組合ノ發起人方ノ當然考フベキコトト思フノデアリマス、而シテ此資格等ハ固ヨリ其組合ノ定款ニ定メラルベキコトデアラウカト考ヘマス

○岡田委員 一寸私ノ尋ネ方ガ惡ウゴザイマシタガ、ソレデハ今ノ説明カラ想像シマスト現在ノ移住ニ關係スル者、又移住ノ希望ノアル者ト云フモノダケデスカ、例ヘバ直接ニ何モ移住シ

ヤウトモ思ハナケレバ、又移住ニ關係シテ利益ヲ得ル、サウ云フ者ハ組合員トシテドウ云フコトニナリマスカ、一寸其點ヲ伺ッテ置キマス

○矢吹政府委員 サウ云フ者ハ勿論組合員トシテ歡迎スルト思フノデアリマ

ス

○岡田委員 サウシマスト云フト、政府ノ事業ハ別ト致シマシテ、事業ニ資金ヲ投ズルト云フヤウナ者ヲ、矢張出資者トシテ活用スルノデアリマスカ、其組織ガ一ツノ營利ヲ目的トスル者ハ

イカスカモ知レマセヌケレドモガ、或ル相當ノ出資ニ對スル利益配當デモアルコトヲ豫期シ、又サウデナケレバ特ニ奉仕のニヤラウト云フヤウナモノデ

モナク、多少資本運用ノ意味カラ此組合ノ事業其モノガ、或ハ相當有利デアラウト云フ意味カラ這入ル者モアル、ソレモ必要デアリマセウガ、サウナッテ來ルヲ與ヘルト云フコトノ根本方針ガ幾ラ

カ變ジテ來ル、サウシテ場合ニ依リマスト云フト、移住者ニ不便デモ、或ハ買取ツタ土地ヲ相當ノ利益ヲ取ツテ賣渡スト云フヤウナ弊害ガ起ラヌトモ限ラナイト思フノデアリマス、元來海外移住等ト云フコトハ非常ニ困難ナコトデア

シタコトハ出來ヌノデハナイカト思フノデアリマス、何カ茲ニ名義ハ何デモ宜イガ、實際ニ於テハ國ガウント陰ニ居ッテ援助ヲ與ヘテ、サウシテ移住者其者ニ便利ヲ與ヘ、都合好ク落付クヤウナ指導ノ出來ルコトガ最モ望マシイコトト思フノデアリマス、然ルニ海外ニ

移住スル者トカ、希望ノアル者バカリデハ大シタ組合ハ出來ズ、其他資本家篤志家ヲ集メテヤルコトニナルト、今

ノヤウナコトモ起ッテ來ル、サウナリマスト十分ニ此機能ヲ發揮スルコトガ出來ヌヤウナコトニナリハスマイカト云フヤウニモ考ヘラレルガ、出資者ニモ或程度ノ希望ヲ與ヘ、サウシテソレ等

ニ對スル行動ハ、國ガ十分ニ統制ヲ加ヘ、國ノ援助ヲ多ク與ヘテ便利ヲ圖ルト云フヤウニ、法文ノ上デハ見エナイガ、サウ云フヤウナコトヲ根本方針ト

サレテ居ラヌノカドウカ、チヨット其邊ヲ、昨日御説明ガアッタカモ知レマセヌガ承ッテ置キタイ

○矢吹政府委員 海外移住組合ハ、勿論私益ヲ目的トスルモノデナク、公益ヲ主トスルモノデアルコトハ御承知ノコトト思ヒマス、隨ヒマシテ之ニ加入スル人ガ、自己ノ資本ヲ有利ニ運用セ

ンガ爲ニ、組合ニ加入スルト云フ如キ目的ハ到底達セラレナイコトト思フ、何トナレバ其組合ノ剩餘金額トカ、或ハ利益ノ配當率デアルト云フ如キコトハ、當然制限ヲ受ケルノデアリマシ

テ、或資本運用ノ目的カラハ、之ニ入ルコトハ全く無意味デアラウカト思ヒマス、然ラバ之ニ入ル資本家ハ、唯海外移住事業ヲ發達サセナケレバナラヌト云フ、其公益ノ考カラ入ル場合ヲノミ豫想サレルノデアリマス、又左様ナ狀態

ニ組合ヲ持ッテ行クヤウニ、主務官廳タルモノハ之ヲ監督シテ行カナケレバナラヌコトト考ヘマス、是等ニ付テハ十

分其組合ノ發達ヲ擁護スルト同時ニ、組合ガ公益ノ精神ヲ飽迄モ維持スルト云フコトニ付テハ、是レ亦監督ヲ怠ラヌ考デ居ルノデアリマス、大體只今ノ御質問ニ對シテソレデ御答ニナルダラウト思ヒマス

○岡田委員 サウ云フ都合ニ行ケバ結構デアリマス、多少疑問モアリマスカ、御趣サヘ分レバソレ宜シイノデアリマスガ、サウナッテ見マスト、今度ハ移住スル者ニ對シテ嚴重ナル制限ヲ與ヘ、國ガ援助スル上カラ見テモ、或ハ又

其組合ノ成績ヲ都合好ク舉ゲル上カラ考ヘテモ、斯々ノ者デナケレバ移住組合員トシテ援助セヌトカ、推舉セヌトカ云フヤウナコトモ何レ出來ヤウカト

思ヒマス、是ハ實際問題トシテ非常ナ問題ダラウト思フ、移住者ニ對シテ、是ハ他日ノ問題カモ知レマセヌケレドモ、此計畫ノ根本ノ要素ニナルノデア

リマスカラ、實際相當ノ御豫定ガナケレバナラヌ、從來ハ隨分、何デモ彼デモ入レテ、移住者其者ニモ、國家ノ上

カラ見テ便益ヲ興ヘナンダコトモアリ
ハシマセヌカ、斯ウ云フ一ツノ組合制
度ノ下ニ於テ獎勵スルト云フ場合ニ於
テ、其邊ハドウ云フ御豫定デアリマス
カ、移住者ニ對スル資格ノ條件其他具
體的ノ決定シタモノデナクテモ、大體
ノ今ノ所ノ……

○矢吹政府委員 海外移住組合ノ方法
ニ依リマシテ、海外ヘ移住スル移住民
ハ、從來所謂契約移住ト稱シテ、移任ス
ル勞働移住トハ其行キ方ヲ異ニスル譯
デアリマス、小規模ナガラ一ツノ企業
移住トシテ移住スルコトニナルノデア
リマス、而シテ只今ノ御質問ヲ承ッテ居
リマスルト、資格ニ制限ガアツタリ、又
餘リ私益ヲ充スコトニモ相成ラヌヤウ
ナコトデハ、移住組合ノ設立ハ出來ル
事デアルカ、ドウカト云フヤウナ御不
審モアルデハナイカト想像シタノデア
リマスガ、是ハ先刻社會局長官ヨリ御
説明ノ中ニモ申上ゲタ如ク、現在ニ於
テ海外移住ヲ企テテ居ル各府縣ノ組合
運動ト申シマスガ、相當アルノデアリ
マス、長野縣ハ既ニ着手シテ居リマス、
其他二三縣、伯刺西爾ニ土地ヲ購入シ
テ居ル、マダ土地ハ買ヒマセヌガ、左
様ナ組合ヲ組織シテ、海外移住ヲシヤ
ウト企テテ居ル者ガマダ他ニアルノデ
アリマス、隨ヒシテ、此度サウ云フ移住
組合ヲ設ケルヤウナコトガ行ハレルカ
ドウカト云フコトニ付テハ、何等懸念
スル餘地ハナイ、大ニサウ云フ移住ノ

希望ヲ持ッテ居ル人ニ此案ハ歡迎サ
レテ、之ニ續イテ移住組合ヲ造リ、一刻
モ早ク海外ニ移住スルト云フヤウナコ
トガ促進サレルコトト信ズルノデアリ
マス

○岡田委員 私共ハ根本ニ於キマシ
テ、海外移住ニ關スルコトハ官民協同
デ獎勵スルコトガ必要ダト云フ考ヲ持
ツテ居ルノデアリマスカラ、何デモ都
合好ク發達スルコトヲ希望シテ居リマ
スノガ根本觀念デアリマスガ、今ノ御
説明ニ依リマスト云フト、色々疑問ガ
起リマス、私共ハ農村ノ問題ヲ常ニ取
扱ッテ居ル者デアリマスカラ、農業經營
ノ上カラ考ヘテ見テ、何サマ他ノ事業
ニ比較シテ、經營條件ノ貧弱ノ爲ニ旨
ク行カヌノデアルカラ、若シ農村ニ土
地其他適當ナ勞力ガ存在スルヤウニナ
ツタラ大變宜イト考ヘル、一口ニ言ヘ
バ早ク人口ヲドウカシナケレバナラス
ト云フノガ農村ノ希望ダラウト思ヒマ
ス、サウシテ是等ノコトヲヤツテ見マス
ルト、主トシテ農業者方面ヲ誘ウノデ
アラウト思フノデアリマスガ、ソレモ
結構デアリマセウ、然ラバドウ云フ階級
者ガ一體移住シナケレバナラス、或ハ移
住ヲ希望スルノデテラウカト云フコト
モ想像サレルノデアリマスガ、色々資格
ニ依リ移住ノ希望者ト云フモノガ違フ
ノデアリマス、併ナガラソレノミデ若
シ集メルノナラバ數ハ少カラウト思ヒ
マスガ、茲ニ何トカ目先ヲ轉換シテヤ

ラナケレバ困ル、之ヲ地方的ニ考ヘラ
レル所ノ方面ノモノダトシマスルト、
中々條件ガ分リマセヌケレドモ、此組合
ニ對シテ相當ナ利益モ得ラレルデアラ
ウ、外交上ノ面倒ヲモ起サヌモノヲト云
フコトガ又困難デハナイカ、茲ニ於テ内
地ノ種々ナ問題、他面カラ言ヒマスルト
勿論性質ノ良クナイ不健康ナ者ハイケ
マセヌ、條件ニ合致スル者ヲ得ルコトハ
困難デアリマスガ、サウ云フ善良デ健
康ナル者ハ之ヲ誘ウテ、連レテ行ク、サ
ウシテソレ等ヲシテ過チノナイヤウニ
少クトモ基礎ノ出來ルマデニ十分教導
シテヤルト云フコトノ施設ガ届ケバ、
其ニ都合ガ好イト思フノデアリマス、
所ガ先刻御説明ノ中ニ或ル程度資産云
云ト云フコトデアリマスガ、今日ハソ
レモアリマセウ、假ニ色々ナ條件——
斯様ナ者ナラバ宜シイト云フ條件ガ色
色アリマスガ、其中ニ或ル程度ノ金ヲ
持ッテ居ラナケレバナラヌト云フコト
ガアリマスガ、無論今日ハソレ等ノ選
ニ當ル者モ相當アリマセウガ、此組合
ガ一切ノ者ヲ扱ッテシマフコトガ出來
レバデアリマスケレドモ、他ニモ亦移
住者ノ斡旋ヲサレル、即チ興業會社ノ
如キモノモアルシ、色々勞働者ナドニ
對シテ世話ヲスル者モアリマセウガ、
兎ニ角最モ良イヤウナモノヲ拾ヒ集メ
テシマツテ此組合ガ斡旋スル、是ハ是デ
行クトシマシテモ、他ノ方面ノ海外移
住ヲ斡旋シ居ル從來ノ機關其他ニ宜ク

ナイ影響ヲ及ボシマスル故ニ、大體一
般ノ此現在ノ國內ノ事情カラ割出シタ
移住ノ目的ヲ達スルノニ、甚タ不十分
ナヤウニ思ハレルノデアリマス、デア
リマスカラ他日ノ問題カモ知レマセヌ
ケレドモ之ヲ計畫スルト云ツタトキニ、
假ニ吾々ノ希望シタヤウニ或ル程度ノ
條件ハ多少ハアリマセウケレドモガ、
資産ナドノ條件ガ非常ニ重クナルト云
フヤウナコトニナリマスレバ、此場合
ハ左様ナ者ヲ選定シテ或ル程度マデ行
クカモ知レマセヌケレドモガ、農村ナ
ドモ人口ノ増加ヲ緩和スルト云フ方カ
ラ云フト、村ニ居ッテ貰ハナケレバナラ
ヌ程度ノ者、有産階級ノ者ヲ引拔キ何
トカ境遇ヲ轉換シタガ村ニ居ッテ困ッ
居ルヤウナ者ヲ殘シテ置カレルコトニ
ナリマスルト、内地ノ關係ガ變ナコト
ニナルト思ヒマス、デアルカラ私ハ此
移住ト云フモノノ資格ニ付テ、少シ伺ッ
テ置キマセヌトドウカト思ヒマス

○長岡政府委員 只今ノ此農村ノ實際
ノ狀況カラ御立論ニナリマシタ御議論
ハ洵ニ御尤ト考ヘマス、唯々併シ御考
ヲ願ヒタイノハ、此移住組合法ニ依テ
海外ニ送りマス移住ト云フモノガ移民
ノ全部デハゴザイマセヌ、既ニ御協賛
ヲ經マシタ豫算ノ中ニモ、農家ノ農業
勞働ノ體驗ガアツテ資産ノ無イ者ヲ、毎
年七千人宛南米ニ送ル豫算ガ既ニ衆議
院ヲ通過シテ居リマス、從來誰デモ彼
デモ送ッテ宜イト云フヤウナ方針ヲ執ッ

タ時代ハ恐ラクアリマスマイケレドモ兎モ角モ南米ノ事情ヲ人ヲ出シテ能ク調査サシテ見マシタガ、農業労働ノ體驗ノ無イ者ガ行クコトハ甚ダ宜シクナイ、例ヘバ巡查上リトカ云フ者ガ行クト農業労働ヲ厭ガツテ動トモスルト理窟バカリ云ツテ、土地ニ土著ノ人ト直ニ利害關係ノ衝突ヲ起ス、然ルニ農業労働ノ體驗ノアル者デアリマス、伯利西爾其他ノ南米ノ諸國ニ於テモ今日ハ非常ニ歡迎シテ居リマス、ソレデアリマスカラ從來モ送りマシタ、昨年ハ五千人デアリマス、來年ハ七千人デアリマスガ、ソレ等ハ何レモ農家ノ二男三男デ農業労働ノ體驗ガアリ、且ツ家族ヲ持ツテ一家ヲ構成シテ居ル者ヲ、之ニ年々相當ノ補助ヲ與ヘテ送ツテ居リマス、只今ノ資産ノ無イ者ニシテ海外ニ於テ發展シヤウト云フ者ニ付テハ、或ハ不足力知レマセスケレドモ、免ニ角途ガ付イテ居リマス、今日一ツハ不景氣ノ爲カ知レマセスケレドモ、兎モ角モ海外發展ノ空氣ハ農村ニ行渡ツテ居リマスカラ希望者ハ中ミアリマス、殊ニ吾々ノ方デ地方ニ宣傳ノ講演會ヲ開キマス、即座ニ直ニ手續ヲ問合ハス者ガ一夜ニ數十人モアルト云フコトデアリマス、日本人ハ海外發展ニ適サナイト云フ人ガアリマスケレドモ、是ハ唯モ徳川三百年來ノ鎖國時代ノ方針ニ妨ゲラレタモノデアリマス、日本人ハ海外發展ニ適セナイモノデアリマセ

スカラ、將來組合法以外ニ依ル資産ノ無イ者デ農業労働ノ體驗ノアル者ハ、南米ニ送りタイト云フコトハ續ケテ行キタイト思ヒマス、唯モ此法案ハ是ト自カラ狙ヒ所ヲ異ニシテ居ルノデアリマス、餘リ資産ノ無イ知識程度ノ低イ、唯モ農業労働ダケノ體驗ノアル者ヲ送リマス、日本人ハ非常ニ知識程度ガ低イヤウニ誤解サレテ、是亦排日ノ一ツノ原因ニモナリマス、又彼等ガ着實勤勉ニ小作人ヲヤツテ居ルト、或ル程度ノ時期ニ達シマス、投機的ノ事ヲ致シマセスケレバ、着實ニ農業労働ヲヤツテ居レバ、或ル年限内ニ自作農トナリ地主トナルト云フコトハ確實ニ當ガアリマス、是ハ主任ノ書記官ヲ一兩年前ニ派遣シテ詳シク南米ノ農業労働ノ調査ヲ致シマシタ、農業労働デ着實ニヤツテ行キマスレバ、將來確ニ成功ノ途ガアリマス、唯モ南米移民ハ今日迄日ヲ經ルコトガ淺ウゴザイマスカラ、北米ノヤウナ長イ間ノ歴史ヲ經タヤウナ大事業ヲシテ居ル者ハ少イノデゴザイマスガ、併シ着々トシテ眞面目ナ者ガ地歩ヲ占メテ居リマス、唯モ併ナガラソレハ資産ノ無イ農業労働者ダケデアリマスカラ、此海外移住組合法ニ於テハ多少ノ資産ヲ持ツテ居ル者ガ直ニ彼ノ地ニ參ツテ、自作農トシテ若クハ地主トシテ農業經營ニ當ルト云フヤウナ、一步進ミマシタモノヲ併セテ經營致シマスルコトガ、今日目下ノ急務デアラウト、斯

ウ云フ目的デ此法案ヲ提出シタ次第デアリトス、資産アル者ダケ農村ノ中堅階級者ダケヲ南米ニ送ツテ、サウシテ他ノソレ以下ノ者ハ顧ミナイト云フノデハゴザイマセヌ、ソレハ從來ノ方針ヲ益或ル程度マデ擴張シテ行キマシテ、資産ノ無イ者ト雖モ着實ニシテ勵勉ナ、且ツ健康ナ農業労働者デアレバ、南米ニ於テ新天地ヲ開拓致シ、且ツ成功スルコトガ出來ルト思ヒマスカラ、ソレ等ノ者ニハ相當ノ方法ヲ與ヘタイト云フ考デ、種々ナ施設ヲ講ジテ居ル次第デアリマス

○岡田委員 能ク分リマシタ、一般ノ者ヲ取扱ハレルヤウナ御趣意ノ意味ガ分リマセヌナンダカラデアリマスガ、ソレノ善惡ハ別ノ意見デアリマスカラ、是ハ別ト致シマシテ、ソレデハ是ハ相當ノ資産ヲ持ツテ、サウシテ行カウト云フ者ノミト云フ、サウ云フ風ニ——此組合ノ移民ト云フモノハ相當ニ資産ノ有ル者ヲ——ソレナラソレデ御趣旨ハ判ツタ……

○津崎委員 私カラ一方ノ提案者トシテ——私ハ斯ウ思フ、貴方ハ先程カラ聞イテ居ラレバ、是ハ政府案ニ於テハ「組合員又ハ組合員同一ノ家ニ在ル者」吾々ノ方ハ「組合又ハ其ノ家族」家族ノ範圍ハ勅令デ定メル、斯ウシテアリマス、例ヘバ召仕デアッテモ、召仕ハ組合員ト同一ノ家ニ在ル者トシテ——是ハ解釋ノ仕方デアリマス——サウ云フ者モ一緒ニ行ケルノデアリマス、デアリマスカラ何モ何千圓ト云フ金ガ無クテモ、是ハ産業組合法ニ依リマスカラ、産業組合法ニ依テ出資一口幾ラニスルカト云フコトヲ定款ニ決メナケレバナラヌ、サウシテ例ヘバ出資一口幾ラニスルカト云フコトハ、是ハ定款ニ依リマスケレドモ、サウ大金ハ出セナイ、制限ガアル、三十口ニナツテ居リマス、或ハ特別ノ場合ニ五十口ニナツテ居リマス、サウ何萬ト云フ金ハ之ニ出セナイ、デアリマスカラ御話ノ通りノ問題ハゴザイマス、中産階級ノ者ヲ主トシマスカラ、出資一口ヲ持ツテモ宜イ、例ヘバ出資一口ヲ十圓ト假定シマス、或ハ百圓デモ宜シイ、百圓ヲ一口ニシテ——サウスレバ組合員ニナレルカラ、其組合員ノ家族ハ勿論行ケル、又組合員ト同一ノ家ニ在ル召仕ノ者デモ行ケル、デアリマスカラ無産階級ノ者デモ行ケル、唯モ金ノアル者デナケレバナラヌト云フ譯デハナイ積リデアリマス、是ハ私ノ申上ゲマスノハ、此政府案ニ依テ「サンプル」ヲ作ツテ居ル一人デアリマスガ、ソレヲ御手許ニ差上ゲテ置キマシタ、ソレデ云フノデアリマス、其事ハ地方ノ問題トシテサウ心配ハ無イコトデアアル、又貴方ハ農村ノ御研究者デアリ、又御盡力者デ在ラレル、兎角農村研究者トカ農政學者ト云フ人間ガ、農村民ノ海外移住ヲ獎勵スルコトハ農村ノ疲弊ダト云

フコトヲ説カレル人ガ時々アル、此頃ハ無イヤウデアリマスガ——實ハ貴方モ此案ニ御賛成ニナツテ居ラレルト思ッテ吾々ハ非常ニ愉快トスルノデアリマスガ、此頃矢張ドウシテモ適當ニ農村カラ人ヲ出シテサウシテ農業ヲ經營サセルト云フコトガ、農村振興ノ根本ノ方法デアラウト云フコトヲ論ゼラレルコトハ、非常ニ海外發展ノ論ト一致スルノデアツテ結構ト思フ、今横合カラ飛出シタヤウデアルケレドモ、此提案者ノ一人トシテ其積リデ申上ゲテ居ルノデアリマス、諄イヤウデアリマスガ、組合員ト云フモノハ一口デモ持テル、其一口ト云フコトハ定款デ出資ノ制限ガアリマス、上ノ方ハ産業組合デ制限セラレテアリマスカラ、大キナ金デ壟斷セラレル虞モ無イ、ソレカラ一方カラハ又地方ニ依リマシテ、先程御話モアリマシタガ、實際ニ二男三男デ或ハ相當ニ分家スル——五反百姓ガ幾ラカ存ジマセヌガ、分家シテ財産ガ小サクナツテ困ル者ガ、ソレニ對シテ相當ナ分家スル積リデ金ヲ出ス者ガアル、途サヘ付ケマスレバ、一番先ニ御質問ニナツタヤウナ金ノ少クテ困ルト云フヤウナコトハ少シモ恐レルニ足ラヌコトデアリマス、デアリマスカラ吾々ハ貴方ニ御賛成ヲ願フテ宜イト思フ、本案ヲ出ス時ハサウ云フ信念ノ下ニ出シタノデアリマス、詰リ同一ノ家ニアル者ト云フノハドウ云フ解釋ヲ執ラレルカ存ジマセ

ヌガ、召使デモ行ケルト云フヤウナ、サウ云フ解釋ヲ執ッテ行ケルト信ジテ居リマス、現ニ行ッテ居リマス

○池田委員長 岡田君ニ御尋ネシマスガ、尙ホ今ノ御質問ハ政府委員ニ答辯ヲ御求メニナリマスカ、ソレデ御分リニナリマシタカ

○岡田委員 尙ホ私分ッテ居ルノデアリマスガ、私ハ何モ此案ヲ不必要ト云フノデアリマセヌ、尙ホ一寸津崎君ニ御尋ネシマス、併セテ政府委員ニ御尋ネスルコトニナルカモ知レマセヌガ——或ル程度ノ資金ヲ持ッテ行クト云フコトモ必要デアラウト思ヒマス、ソレカラサウ云フ者ニ對シテ特ニ都合好ク指導シテヤルト云フコトモ必要デアラウト思ヒマス、ソレデ此案ハソレナラソレデ宜イ、吾々ハ別ノ希望トシテ普通ノ勞働移民モ何カノ機關デ之ヲ一絡ニヤルナラバヤツテ貰フタラ宜イ、又別ノ方法デヤルナラバソレデモ宜イ、ソレデ先刻ノ政府委員ノ御説明デ分ッタノデスガ、今ノ津崎ノ御話ノ如キ事ガ中心ニナルノデアリマシテ、ソレノ家族デアレバ行ケルト云フ程度ハソレハ宜イト思ヒマス、或ル範圍ハソレデ分リマスガ、全般ノ多ク出ル者ハ別ニ包容サレルノデアアルカラソレニ對スル事柄ガ、此組合デハ範圍ガ狭クテ、或ハ是デ都合ガ惡イカラ外デスルト云フ御計畫ニナツテ居ルノナラソレデ宜シイ、其點ガハッキリナリサヘスレバ、ソ

レデ宜シカッタノデアリマス、ソコデ資產々々ト言ヒマスガ、例ヘバ是位ノ出資デアアルナラバ何モ問題ハ無イト思フ、ダガ向フヘ行クノニハ例ヘバ五千圓持ッテ行カナケレバナラヌ、一萬圓持ッテ行カナケレバナラヌト云フコトガ幾ラカ問題ダラウト云フ意味デアツタ、併シ左様ナ事ハ決定モ出來テ居ナイ、サウ云フ風ニ考ヘテ居ナイ、其資產ト云フコトハ二千圓デモ三千圓デモ幾ラデモ宜イト云フノナラソレデ宜シイノデアリマス、ソレハ今日農村ニ於テ今少ミノ資產ノアル者ハ宜シイ、ソレヲ持ッテ居ル位ノ者ハ澤山希望者モアリマスシ、又ソレヲ持ッテ行クノガドツチカト云フト宜イト私モ感ジテ居ル、唯ソレ等ガ都合ニ依リマスト云フト、色色サウ云フコトニ關係スルノデアリマス、其邊ヲモウ少シ能ク伺ヒマス、彼方ノ方ハアデアアル、此方ノ方ハ斯ウデアアル、故ニ今ノ御説明ノ如ク勞働移民ノ事ハヤツテ宜イガ、併シソレデハ足ラヌト云フ問題ヲ吾々ハ澤山持ッテ居リマス、ソレデ其中デ私ノヤツテ戴キタイト云フコトハ別ナ問題ニナツテモ宜シイ、要スルニ移民ガ一村カラ二人三人、又翌年ハ三人五人行クト云フ風ニナレバ宜イノデアリマスガソレガ計畫ノ規模ニ依リマシテ、定刻ノ資產問題デ出資金位デナク、所謂持參金ト云フモノニ付テノ何カ御考デモアルノデアリマス、私モ大體分ッテ居マスケレドモ一

寸聞イテ置キタイ

○長岡政府委員 私ノ先程ノ説明ガ少シ不足デアツタカ存ジマセヌガ、大體海外移住組合法ニ依テ行キマス者ハ兎モ角モ此組合ノ一口ノ拂込ヲスルダケノ資格ノアル者デナケレバイカヌ、相當ノ資金ト云フト大變何萬ト云フヤウナ風ニ聞エマスガ、ソレ程ノ意味デナイソレ以外ノ農業勞働ニ従事スル者ニ付テハ他ニ保護スル方法ガアレバ宜イ、斯ウ云フ御説ト思ヒマス、其方法ニ付キマシテハ是ハ御參考迄ニ申上ゲマスガ、ソレデハ不足カ知リマセヌガ、兎ニ角一人ニ付テ渡航費トシテ政府カラ三百圓補助致シマス、ソレカラ今迄出發スル者ニ對スル所ノ何等教養ノ機關ガゴザイマセヌデシタ、農業ノ勞働ニ對シテ經驗アル者ヲ送ルト云フコトト、向フノ風俗習慣ニ慣レナイト云フコトト兩方矛盾シタ點ガアル、ソレデ今回ハ神戶ニ國立ノ移民收容所ヲ置キマシテ、サウシテ言葉ガ碌々出來ナイニシマシテモ、ネクタイノ結び方トカ、着物ノ著方トカ、或ハ西洋料理ノ食ベ方、或ハ簡單ナオ早ウ、今晚ハト云フヤウナ言葉又人ノ前デ手鼻ヲカムト云フコトノナイヤウニ、彼ノ地ノ風俗習慣ヲ教ヘテ簡單ナ言葉モ覺エサセテ、サウシテ向フノ人ニ嫌ハレナイヤウト云フコトデ、十日間只デ神戶ノ收容所ニ泊メテヤツテ、其間ニ指導ヲシテヤラウト云フダケノ豫算ガ既ニ計上シテアリマス、

レデ宜シカッタノデアリマス、ソコデ資產々々ト言ヒマスガ、例ヘバ是位ノ出資デアアルナラバ何モ問題ハ無イト思フ、ダガ向フヘ行クノニハ例ヘバ五千圓持ッテ行カナケレバナラヌ、一萬圓持ッテ行カナケレバナラヌト云フコトガ幾ラカ問題ダラウト云フ意味デアツタ、併シ左様ナ事ハ決定モ出來テ居ナイ、サウ云フ風ニ考ヘテ居ナイ、其資產ト云フコトハ二千圓デモ三千圓デモ幾ラデモ宜イト云フノナラソレデ宜シイノデアリマス、ソレハ今日農村ニ於テ今少ミノ資產ノアル者ハ宜シイ、ソレヲ持ッテ居ル位ノ者ハ澤山希望者モアリマスシ、又ソレヲ持ッテ行クノガドツチカト云フト宜イト私モ感ジテ居ル、唯ソレ等ガ都合ニ依リマスト云フト、色色サウ云フコトニ關係スルノデアリマス、其邊ヲモウ少シ能ク伺ヒマス、彼方ノ方ハアデアアル、此方ノ方ハ斯ウデアアル、故ニ今ノ御説明ノ如ク勞働移民ノ事ハヤツテ宜イガ、併シソレデハ足ラヌト云フ問題ヲ吾々ハ澤山持ッテ居リマス、ソレデ其中デ私ノヤツテ戴キタイト云フコトハ別ナ問題ニナツテモ宜シイ、要スルニ移民ガ一村カラ二人三人、又翌年ハ三人五人行クト云フ風ニナレバ宜イノデアリマスガソレガ計畫ノ規模ニ依リマシテ、定刻ノ資產問題デ出資金位デナク、所謂持參金ト云フモノニ付テノ何カ御考デモアルノデアリマス、私モ大體分ッテ居マスケレドモ一

寸聞イテ置キタイ

○長岡政府委員 私ノ先程ノ説明ガ少シ不足デアツタカ存ジマセヌガ、大體海外移住組合法ニ依テ行キマス者ハ兎モ角モ此組合ノ一口ノ拂込ヲスルダケノ資格ノアル者デナケレバイカヌ、相當ノ資金ト云フト大變何萬ト云フヤウナ風ニ聞エマスガ、ソレ程ノ意味デナイソレ以外ノ農業勞働ニ従事スル者ニ付テハ他ニ保護スル方法ガアレバ宜イ、斯ウ云フ御説ト思ヒマス、其方法ニ付キマシテハ是ハ御參考迄ニ申上ゲマスガ、ソレデハ不足カ知リマセヌガ、兎ニ角一人ニ付テ渡航費トシテ政府カラ三百圓補助致シマス、ソレカラ今迄出發スル者ニ對スル所ノ何等教養ノ機關ガゴザイマセヌデシタ、農業ノ勞働ニ對シテ經驗アル者ヲ送ルト云フコトト、向フノ風俗習慣ニ慣レナイト云フコトト兩方矛盾シタ點ガアル、ソレデ今回ハ神戶ニ國立ノ移民收容所ヲ置キマシテ、サウシテ言葉ガ碌々出來ナイニシマシテモ、ネクタイノ結び方トカ、着物ノ著方トカ、或ハ西洋料理ノ食ベ方、或ハ簡單ナオ早ウ、今晚ハト云フヤウナ言葉又人ノ前デ手鼻ヲカムト云フコトノナイヤウニ、彼ノ地ノ風俗習慣ヲ教ヘテ簡單ナ言葉モ覺エサセテ、サウシテ向フノ人ニ嫌ハレナイヤウト云フコトデ、十日間只デ神戶ノ收容所ニ泊メテヤツテ、其間ニ指導ヲシテヤラウト云フダケノ豫算ガ既ニ計上シテアリマス、

向フニ參リマシテノ施設ハ、是ハ外務省ノ所管デアリマスカラ、私カラ云フノハ或ハ僭越カ存ジマセヌガ、大體ニ於キマシテ農業ニ從事スル移民ガ困リマスノハ、第一ガ子供ノ教育機關第二ガ醫師、第三ガ金融機關デアリマス、子供ノ如キハ伯刺西爾ノ言葉デ、向フノ小學校デ教育ヲ受ケタラ宜イデハナイカト云フ御説ガアリマス、是ハ御尤デアリマス、併ナガラ兎ニ角ココ五十年位ノ間ハ日本語デ教育シテヤリマセスト、殊ニ女デアッテ向フノ言葉シカ出來スト云フ者ハ日本人モ貰ハズ、伯刺西爾人モ貰ハズ、嫁ニ行クコトガ出來ナイト云フコトニナリマスカラ、其位ノ間ハ日本語ノ教育モ子供ニヤッテヤラナケレバイカヌ、之ニ付テハ外務省ノ豫算ニ於テ相當ノ費用ヲ計上シマシテ、小學校ノ施設ヲ彼ノ地デ經營スルコトニナッテ居リマス、ソレカラ醫者ガ伯刺西爾デハ非常ニ高イノデアリマス、殊ニ言葉ガ通ジマセヌカラ、容體モ碌碌云フコトガ出來ナイヤウナコトデアリマスカラ、日本人ノ醫學士其他醫學專門學校ノ卒業生ヲ官費デ彼方ニ留學サセマシテ、向フノ開業醫試驗ヲ受ケサセル、サウシテ留學生ハ伯刺西爾ニ於テ一定ノ年限ノ間開業ノ義務ガアルト云フコトニシテ、サウシテ數年來其方モ繼續シテヤッテ居リマス、移民ガ歸民ニナルコトハ氣ノ毒デアリマスカラ、サウ云フ保護ノ施設モシテ居リマ

スガ、今一ツ最モ缺ケテ居ルノハ農業金融デアリマス、之ニ付テ獨逸ノ伯刺西爾ノ舊殖民村ノ如キハ農家ハ或ハ農業倉庫、産業組合ノ方法ニ依テ資金ヲ融通シテ居リマス、珈琲ニシマシテモ砂糖ニシマシテモ、農産物ノ收穫時期ニハ非常ニ値ガ下ル、是ハ仕方ガナイ次第デアリマセウガ、日本人ハ資金ガ無イ爲ニ賣拂ッテシマフ、獨逸人ハ産業組合、農業倉庫ノ經營ニ依テ作物ノ値ノ騰ル時迄持耐ヘルト云フ方法ガアル、之ニ付テハ何トカ方法ヲ講ジテヤリタイト云フコトニ付キマシテ、目下研究中デアリマシテ、此事ガ出來マスレバ農業ノ金融ノ問題モ、勞働ニ從事スル者ノ保護モ、先ヅ相當ニ出來ルコトト考ヘテ居リマス、一方ニ於テハサウ云フ方法ヲ講ジテ居リマス、是ハ先程モ申シマシタ通りニ、資産ト云フノハ兎ニ角組合ニ對シテ拂込ノ出來ルダケノ資産ノアル者ヲ此方デ保護シテ行カウト云フ、二様ノ方法ニ依テ只今移民ヲ送ラウト云フコトニナッテ居リマス

○岡田委員 モウ一ツは少シ問題外カ知レマセヌガ、彼方ニ行クニ付テノ御指導ニ付テ承リマシタガ、私ハ色々ノ情報ニ依リマスト無論子供ノ教育ノ外ニ、最初ニ間誤ツクコトハ農業勞働ニ此方デ慣レテ居ッテモ形式ガ違フ、氣候ガ違フ、組織ガ違フト云フ爲ニ、單純ナル勞働者ニナレバヤレマスガ、ソレデモ尙ホ間誤ツクト云フコトデアリマス、先ヅ農業ニ從事シテ或ル程度マデ、何カ其處ノ勝手ヲ覺エル迄ノ指導ガ一向ニ無イヤウデアリマス、何カ國デ云ヘバ、試驗場ト云フヤウナ譯ニハ逆モイカヌデアリマセウガ、向フデ是等ノコトヲ能ク研究サセテ置イテ希望ガアレバ斯ウ云フ形式デ——假ニ土地ヲ借リル場合ナラバ斯ウ云フ形式ガ宜カラウト云フヤウナコトヲ教ヘル設備ガ必要ナヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ點ハドウデアリマスカ

○池田委員長 一寸御諮リ致シマスガ、只今ノ御質問ハ便宜上井上君ガ御關係ガアルサウデアリマスカラ、井上君カラ御話ヲ伺フコトニシテハ如何デスカ

○岡田委員 結構デス

○井上雅二君 私ハ委員外デアリマスガ、只今御求メニ依リマシテ少シ申ゲテ見タイト思ヒマス、先刻社會局長ヨリ御話ガアリマシタガ、實ハ南米ノ移民ハマダ歲月ガ極メテ淺イノデアリマス、僅ニ十七八年位デアリマシテ、特ニ多ク參ルヤウニナッタノハ最近三、四年來ノコトデアリマス、隨ヒマシテ公益ノ施設等ニ付テモマダ十分ニナッテ居ラヌコトハ私モ認メテ居ルノデアリマス、彼方ニ參リマシテ先ヅ以テ岡田君ノ御質問ノ通り向フノ事情ニ慣熟致シ、農業ノ事等モ承知スルニハ、ドウシテモ數年ノ歲月ガ要ルノデアリマス、理想的ニ云ヘバ矢張彼方ノ大キナ農園ニ入リマシテ、數年間ノ經驗ヲ經テ、ソレカラ幾ラカ金ヲ溜メテ、サウシテ土地ヲ買ヒ獨立農ニナルト云フコトガ一番順序デアリマシテ、失敗ガナイノデアリマス、併ナガラソレダケデハ所謂先刻來モ御話ガアッタ通り足ラヌノデアリマス、日本ノ狀況カラ云ヘバ、今少シク作興セネバナラスト云フ所カラ議員ノ間ニ此案ガ出、政府ヨリモ此案ガ出タト信ズルノデアリマス、隨ヒマシテ是等ノ農業施設ニ付キマシテハ、今後ハ段々起ッテ來ルト思ヒマス、又移民ノ中ノ成功者ノ中ニハ自ラ倉庫ヲ經營シ、是ガ經營ニ當ッテ居ル者モアリマス、又此目的ヲ以テ出來マシタ、只今御話ノ海外興業會社ノ如キニ至リマシテハ「オカベ」ノ殖民地ガ既ニ寺内閣ノ以前、即チ大浦子爵ガ農商務大臣ヲサレテ居ッタ時ニ出來タ殖民地デアリマシテ、是ハ既ニ十年ノ歲月ヲ經テ居ルノデアリマス、隨テ之ニ對シマシテ既ニ約千五六百名ノ殖民ガ入ッテ、種々ノ施設ヲ致シテ居ル經驗ヲ持ッテ居ルノデアリマス、種々ノ施設モアリマスガ、産業ノ施設ト致シマシテハ先ヅ以テ農産物ヲ多種ニ互ッテヤルト云フコトガ、移民ノ成功ノ要諦デアリマス、即チ珈琲ナラ珈琲ダケデハイカヌノデアリマス、珈琲ガ惡クナレバ其翌年ハ大變困ル、是ガ爲ニ昨年ノ議會ニ於テモ旱害救済資金ノ如キモノガ問題ニナッタノ

デアリマス、ソコデ多作ヲヤリマスト
米ノ如キハ日本人ガ適當シテ居リマ
ス、隨テ米ノ栽培ヲスルニモ之ニ加工
スル者ガナケレバナラス、併シ移民自
身ガヤルダケノ力ヲ持チマセヌデ、
會社ガ殖民地ニ於キマシテ約十餘萬圓
ノ金ヲ投ジマシテ精米所ヲ作ッテ居リ
マス、移民ガ作ッタモノニ加工致シマシ
テ精米シテ賣ルノデアリマス、ソレデ
サウ云フ施設モ今後ハ移住組合ノ力デ
ヤルコトガ全然必要デハナイカト考ヘ
テ居リマス、ソレカラ岡田君ノ御話ノ
通り、農業ノ基礎、研究ガ最も必要デア
リマス、是ハ單リ南洋方面バカリデハ
ナク、南米方面ニ於テモ必要デアリマ
シテ、南洋方面ニ於テモ吾々ハ相當之
ニ金ヲ投ジテ居ルノデアリマス、伯刺
西爾殖民地ニ於キマシテハ精米所ノ外
ニ農事試驗場ヲ拵ヘマシテ、例ヘバ珈
琲ノ如キハドウデアアルカト申シマス
ト、日本人ハ比較的一本調子デアリマ
シテ、先人ノ居ッタ所ニ這入り込ム風ガ
アリマスガ、必シモ先人ガヤッタ跡デナ
クトモ、新シキ方面ニ向ッテ開拓スル餘
地ガアル、ソレニモ拘ラズ甲ノ者ガ或
村ニ這入ッテ居ルカラ自分モ這入ッテ行
クト云フヤウニ、先人ノ跡ノミヲ追フ
爲ニ非常ニ失敗ヲ招クノデアリマス、
ソレデ此土地ニハ曾テ珈琲ガ出來テ居
ラヌガ、ヤッテ見テドウカト云フヤウナ
コトガ起ッテ來マセヌ、最近私共ノ殖民
地ガ五六年來外國人ノ珈琲園ニ於テ支

配人ヲ致シテ居ッタ日本人デ、外國語學
校ヲ卒業シテ語學ノ達者ナ人ヲ指導者
ニシテ數百町歩ノ珈琲園ヲヤッテ居リ
マスガ、サウスルト他ノ吾々日本人ハ
勿論ノコト、直グ隣リニハ獨逸人ガ出
テ來ル、伊太利人モ出テ來ルノデアリ
マスガ、ヤッテ見ルト從來珈琲園ノ多ク
在ル所ヨリモ却ッテ成績ガ良イト云フ
ヤウナ狀況デアリマシテ、今日既ニ四
十萬町歩ノ珈琲園ヲ此處ニ拵ヘタト云
フコトガアリマス、隨ヒマシテ珈琲ヲ
精製スル工場ガ必要トナリマスカラ、
是モ設備シナケレバナラスト云フコト
ニナリマス、現ニ「アリヤンザ」ノ殖
民地ニ於テハ、新シク煉瓦工場ヲ造
リタイ希望ガアルト云フコトヲ聞キマ
シタガ、是亦吾々殖民地ニ於テハ相當
ノ金ヲ掛ケテ煉瓦工場ヲ造ルノデアリ
マス、ソレガ唯々材木ダケデハイケナ
イ、煉瓦モ必要デアリマスカラ煉瓦工
場ヲ造ルノデアリマス、併シ移民獨リ
ノ手デハ出來ナイノデ、矢張組合ノ力
ニ依テ造ルノデアリマスガ、國家ガ又
之ヲ幾ラカ助成スル必要ガアルと思ヒ
マス、尙ホ私共殖民地ニ經驗シテ居リ
マスコトハ、砂糖工場ガアリマス、砂糖
ガ澤山アリマスカラ分蜜工場ヲ造ルコ
トガ必要デアリマス、是モ初メ組合デ
ヤリマシタガ、ドウモ組合デヤリマス
ト日本人ノ弱點トシテ協調ガ保テナ
イ、ソコデ移住組合ヲ作ルコトモ必要
デアリマスガ、成ベク協調ノ精神ヲ以

テ多數ノカラ集メルコトガ肝要デアリ
マス、所ガ此成績ハ過去ニ於テハ面白
クナカッタノデアリマス、ソコデ今度ハ
會社ニ於テ工場ヲ建テテ、吾々ノ作ッ
甘蔗ヲ集メテ精製シテ、之ヲ市場ニ賣
ルコトヲ致シマシタ、其外ニ只今漏レ
マシタガ倉庫業、是ハ個人モヤッテ居リ
マスガ、當然ノ歸結トシテ倉庫業ヲヤ
リマシテ日用品ノ販賣ヲヤッテ居リマ
ス、又製材所モ經營シテ居リマス、製材
所ノ如キハ日本デ御考ニナッテハ不思
議ノヤウデアリマスガ——是ハ南洋デ
モ同ジデアリマスガ——一丈モ二丈モ
アルヤウナ木ヲ燒棄テマス、ソレニ付
キマシテ近イ所ニ製材所ガアッテ製材
ノ供給ガ出來レバ宜シイカラ、斯ウ云
フ設備ハ殖民地デハ矢張必要デアリマ
ス、即チ製材所デ製材シタモノヲ廉ク
供給スル設備モ必要デアリマス、ソレ
カラ農場ヲ移住組合ガ作リマスト、少
クトモ二三町歩ノ區域ガ出來マス
ガ、之ニ對シテ矢張珈琲ヲ植メルコト
ニスレバ、珈琲ノ乾燥場デアルトカ、精
選場デアルトカ云フモノガ必要ニナリ
マス、ソレカラ向フデハ農業ト兼ネテ
牧畜ヲヤラナケレバナリマセヌ、牧畜
ヲヤルト之ニ對シテ搾乳場ガ要リマ
ス、是等ノ設備モ現ニ致シテ居ル經驗
ヲ持ッテ居リマス、又公益ノ施設トシ
テ只今社會局長官ヨリ御話ガアリマ
シタガ、ドウシテモ醫者ガ必要デア
リマスソレカラ學校ノ問題、學校ノ

問題モ只今御話ノ通り向フデ産レタ
者ハ伯刺西爾人ニナルノデアリマ
ス、又向ウデハ向ウノ學校ヲ造ルコ
トガ本則デアリマス、之ニ對シテ
補習教育ヲヤルノデアリマス、是等モ
私共ノ方デハ六ツノ學校ヲ造ッテ居リ
マスガ、教師ノ方ハ、正教員ハ彼方ノ國
ノ者ヲ雇ヒマシテ、之ニ對シテハ「ブラ
ジル」政府ヨリ援助ヲ致シテ居リマス、
其上ニ尙ホ日本人ノ教師ヲ雇ヒマシ
テ、日本語ノ教授ヲヤッテ居ルヤウナ譯
デアリマス、何分マダ日本人ノ移住ハ、
今申上ゲル通り短日月デアアルノデアリ
マスカラ十分ニ出來テ居リマセヌ、出
來テ居ラヌガ爲ニ斯ノ如キ組合ガ必要
デアルト考ヘルノデアリマス、是デ宜
シウゴザイマスカ——簡單ニソレダケ
申上ゲマス

○岡田委員 今井上サンノ御説明ノヤ
ウナコトガ、此新開地ニハ最も必要デ
アッテ、勝手知ラヌ者ノ無駄ナ事ヲスル
ノヲ防グ方法デアアル、私ハ實ハ北海道
ナドデサヘモ最近ニ至ッテ稍北海道
式ノ農場經營ガ行ハレテ居ルガ、數年
前マデハ内地式ノ農業ガ行ハレテ居
タサウ云フヤウナ非常ナ無駄ヲシハセ
ヌカト云フヤウナ感ジガ致シマス、今
御説明ノヤウナコトガ前ニ出來マスト
結構デアリマスガ、是ハ組合ガ彼方ニ
行ッテノ指導的ノコトヲサレルノデス
ネ——ソレデ私ノ質問ヲ打切りマス

○神田委員 私ノ質問ハ極ク簡單デア

リマスガ、私モ移住組合法案ノ提出者
デアリマスカラ、提案者ヘノ質問デハア
リマセヌ、政府案ニ付テ御尋ネヲ致ス
ノデアリマス、御尋ネノ趣旨ノ此案ノ
範圍如何ト云フコトデアリマス、其一
ハ場所ノ範圍、只今マデノ御質問又御答
カラ見ルト、何ダカ「ブラジル」移民會社
デモ拵ヘルヤウデアッテ、少シモ東洋ノ
滿蒙トカ、西伯利亞、或ハ南洋ト云フ方
面ノコトニハ及ンデ居ラヌヤウデアリ
マスガ、此法案ハソノ偏頗ナモノデ
ハナク、滿蒙ノ如キハ最も重要ナ所ト
シテ行カナケレバナラヌ、西伯利亞ノ
方ニモ行カナケレバナラヌ、殊ニ南洋
ノ如キハ只今井上サンノ御話ニモアッ
タ通り、處女地ニ向ッテ日本人ガ行カヌ
ノハ何故カト云ヘバ、ドウモ開發ノ先
鋒ガ居ナイカラデアアル、行ッテ見ルト南
洋ノ如キハ開拓スベキ土地ガ「ブラジ
ル」ヨリ寧ロ多イ、「ブラジル」方面ハ、
井上サンハ勿論専門家デアアルガ、「ブラ
ジル」ノ移民ハ、只今デハ有望ノヤウデ
アルガ、何レハ又排斥サレルコトニナ
ル、今カラ日本ノ移民ノ排斥サレル時
ノアルノハ目ニ見エテ居ル、ソレ故ニ
「ブラジル」バカリヲ本位トシテ移民組
合法ヲ拵ヘタラ大變デアアル、是ハ「ブラ
ジル」バカリデハナク、東洋モ南洋モ含
マレテ居ル法案ト思ヒマスガ、如何デ
スカ、次ニ人ノ問題、人ノ問題ニ付テ
モ、今マデノ質問應答ハ共ニ日本人、日
本人ト云フ中デモ専ラ内地人ノコトバ

カリヲ問題ニシテ居ルヤウニ思ハレマ
スガ、此法案ハ朝鮮人ヤ臺灣人ニハ適
用シナイノデアリマス、朝鮮ノ如キ
ハ、殊ニ朝鮮人移民ヲ滿蒙ニ送ッテ居
ル、今ヤ其數ハ百萬ヲ突破シテ居ル、滿
洲移民ト云ヘバ朝鮮人デアアル、故ニ是
ハ人ノ上ニ於テ、日本ノ内地人ノミト
云フ片手落ノ方法デハナカラウト思ヒ
マス、朝鮮人ヲシテ組合ヲ造ラセ、滿洲
ニ送ルト云フコトハ最も適切デアッテ、
朝鮮人ハ滿洲ヲ自分等ノ發祥地ダト云
ツテ喜ンデ居ル、ソレ故ニ一面ニハ朝
鮮移民ヲ十分ニ援助スルノガ此法案ノ
目的デアラウト思ヒマス、又臺灣人ニ
於テモサウデアリマス、臺灣ノ人達ガ
今日不平ヲ云ッテ居ルノハ、色ミノ法律
ヲ拵ヘテモ、皆内地人ノ利益ノ爲ニ拵
ヘテ居ルノデアッテ臺灣人ハ殆ド利益
ヲ受ケテ居ナイト云フ點ニアル、而モ
今日南洋方面及ビ其他ノ方面ノ發展
ハ、内地人ヨリハ寧ロ臺灣人ノ働ニ依
ルノデアアル、南洋ヘ行ッテ南洋ノ開拓ヲ
シタ最初ノ人ハ臺灣人デアアル、デアリ
マスカラ斯ウ云フ法律ヲ拵ヘルニ付テ
ハ、獨リ内地人ノミナラズ是等ノ朝鮮
人、臺灣人モ組合ニ入レテ之ヲ助成シ、
俱ニ共ニ海外發展策ヲ講ズルト云フコ
トハ勿論ノコトデアアルト思フノデアリ
マス、今マデ政府ノ御説明モ、質問者ノ
方ニ於テモ、此點ニ付テノ御意見ガナカ
ツタヤウニ思ヒマス、依テ此點ヲ一應伺
ツテ置キマス

○矢吹政府委員 神田サンノ御注意的
ナ御質問ハ御尤ト思ヒマス、此移住組
合法ノ行ハレル範圍ハ何處デアアルカ、
即チ「ブラジル」ノミニ限ルヤウニ只今
マデノ經過ニ於テハ思レルケレドモ、
其範圍ニ限ルモノデハナカラウト云フ
御意見ハ吾ミモ御同感デアリマシテ、
敢テ此法律ノ適用ヲ「ブラジル」ニ於テ
ノミニシヤウト云フ趣旨デハナイノデ
アリマシテ、其趣旨モ移住ニ適當ナ所
ヲ撰ブト云フコトハ勿論デアリマス
ガ、最も適當ナ所ト云フハ滿蒙デア
ルカ、或ハ南洋デアアルカ、ソレハ其移住
組合ヲ造ラレル人達ノ考ニ委セルノ外
ハナイト考ヘマス、次ノ御質問ノ此移
住組合ヲ組織スル人間ハ内地人ニ限ル
モノデアアルカ、必シモ左様ナ必要ハナ
イデハナイカ、朝鮮人デモ宜イデハナ
イカト云フ御質問デアリマシタガ、此
移住組合法ヲ以テ組合ヲ組織スル場所
ハ、吾ミノ只今豫想シテ居リマスノハ
内地ノ積リデ居ルノデアリマス、臺灣
ニ於テ、或ハ朝鮮ニ於テ、此移住組合ヲ
設ケルト云フコトハ、將來ニ於テハ考
ヘナケレバナラヌコトト思ヒマスガ、
只今ノ所デハ内地ニ於テ斯ル組合ノ設
立ヲ期待シテ居ル次第デアリマス、而
シテ内地ニ於テ其組合ヲ造ル場合ニ朝
鮮人ヲ入レテモ宜イデハナイカト云フ
御説デアアルナラバ、是ハ勿論朝鮮人ヲ
入レテモ宜イト思フノデアリマス
○神田委員 私ノ質問ハ是ダケデ宜シ

イノデアリマス
○池田委員長 其外ニハ本問題ニ對シ
テハ質問ノ御通告ガアリマセヌガ、別
ニ御疑問ハナイノデスカ
○津崎委員 御質問ガナケレバ議事進
行デスガ、明日開カレルカドウカ、ソレ
デナケレバ月曜日ニ開イテ御決定ヲ願
ヒマス
○池田委員長 御異存アリマセヌカ
「異議ナシ」ト呼フ者アリ
○池田委員長 ソレデハ若シ質問ノ御
必要ガアレバ月曜日ニ開キマシテ、尙
ホ其時ニ御質問ニナル方ハ御質問ニナ
ルノガ然ルベシト思ヒマス、ソレデハ
月曜ノ午前午後カ何レ公報ヲ以テ御
通知致シマス、ソレカラ中央金庫ノ改
正法律案ノ方ハ今日如何デアリマス
カ、御進メニナリマス
「質問ガアレバ願ヒタイ」ト呼
フ者アリ
○池田委員長 質問ハ村上君ガ御通告
ニナツテ居リマスガ、今村上君ハ御出
席ニナツテ居リマセヌカ、ソレデハ今
日ハ此程度デ止メマシテ、何レ公報ヲ
以テ御通知致シマス
午後三時五十分散會

昭和二年二月二十五日印刷

昭和二年二月二十六日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社